

タブレット PC を利用した 運動学習・動作比較システム「^{みんな}見ん者」

SATテクノロジー・ショーケース2014

■ タブレットPCの普及に合わせて体育教育向けアプリを開発

今般、タブレットPCの普及が加速しています。iPad, Androidに続きMicrosoft社がWindows 8を投入したことでその流れは更に加速しました。米調査会社IDCの2013年5月28日発表によれば2015年にはタブレットPCの出荷台数がパソコン(デスクトップ+ノートタイプ)を超えるという予測がなされています。

今後、全社会的にタブレットPCが従来型のパソコン以上に利用されるようになることをこの予測は如実に示していると言えるでしょう。中でも小学校等の子どもが利用するコンピュータ端末としてはキーボード/マウス等の操作を習得する必要が無いタブレット端末の導入は一般社会以上に急速に進むことが想定されます。

このことから小中学校等の教育向けアプリの充実が必要で、国語・算数・理科・社会・英語等の主要教科については品揃えが増えてきましたが、今回弊社ペンギンシステム(株)は体育教育向けアプリを開発し、リリースしました。

■ 筑波大学との共同研究開発

弊社がスポーツ教育向けアプリを最初に手がけることになったのは筑波大学体育系西嶋尚彦教授との出会いからでした。スポーツ・体育教育をリードする筑波大学体育系のアスリート達に使っていただくために、運動動作比較システムを当初はAndroidタブレット用に開発し始めました。

このアプリの真髄は西嶋教授の知見・ノウハウにこそあるもので、弊社はその実装を担当するにあたってICT専門家としての知見・技術を注ぎ込みました。この成果は共同特許出願という形で結実しています。

そして出来上がったアプリを学生の皆様に使っていただき御意見を伺ってそれを反映していくことで、更にアプリの質が向上していくのを実感しました。

そこでこのアプリを筑波大学学内のみで使っていただくのは勿体ない、もっと広く使っていただくということになり、いわゆる民生利用を図るために、筑波大学と弊社との共同研究開発がスタートしました。

民生利用化にあたってエンドユーザ想定は体育教育だけではなく大人も想定して、以下の2つとしました。

1. 小中学校、高校、部活動など体育教育向け
2. アスリートのトレーニング、フィットネスなど大人向け

■ 民生化にあたっての工夫

御研究の成果を民生化するにあたっては一般に使って貰うために以下のような様々な工夫をしていきました。

1. 教育現場で多く使われているWindows 8用に開発
2. デザインは子ども向け・大人向けで複数用意
3. 操作性をよりシンプルに
4. 大人のトレーニング、フィットネス用途のために、お手本動作を自分で作る機能を充実
5. 安定動作
6. ヘルプの充実
7. 電子市場(Windows store)での販売向け作業

■ 産学連携の成果を市場に向けて投入

弊社は創業以来30年間、研究所や大学の研究を支援するためのソフトウェア・システムを受託請負で作成することをテーマに取り組んできました。

ここ数年、そこからの更なる脱皮を目指して共同研究開発に積極的に取り組んできました。しかし、そこには単なる受託請負とは違う別の難しさがあり、なかなか成果を上げるには至りませんでした。

今回はこれまでのそういった経験を踏まえ、「シーズを大事に」しつつ、「民生化に向けた工夫を施し」、「知財確保も行い」、「電子市場流通を選択」、といった様々な手を打ちました。是非とも産学連携の成果を市場に展開して成功させる、それを実現したいと考えているところです。

実際のアプリを是非ブースにて御覧下さい！

■ 関連情報等(特許関係)

特許出願中(3件)、商標登録出願中



(アプリの画面一例)

代表発表者 仁衛 琢磨(にひら たくま)
所 属 ペンギンシステム株式会社
問合せ先 〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6
つくば研究支援センターCB10
TEL: 029-846-6671 FAX: 029-846-6672
minja@penguins.co.jp

■キーワード: (1) タブレット PC
(2) スポーツ教育向けアプリ
(3) ICT